

「マルチステークホルダー方針」

当社は、「アミノサイエンス®で人・社会・地球の Well-being に貢献する」という志のもと、事業を通じた社会課題の解決に取り組み、社会・地域と共有する価値を創造することで経済価値を向上していく戦略的な取り組みを ASV (Ajinomoto Group Creating Shared Value) として推進しています。企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値共創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値共創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

人財・技術・顧客・組織の4つの無形資産の中で最も重要なのは人財資産です。

志(パーパス)を実現する熱意あふれる人財や、顧客の課題と技術をマッチングさせてイノベーションを生み出す人財、世界各国の人や文化に密着する人財が味の素グループの強みです。今後も人・社会・地球の Well-being に貢献する、さらに多様な価値を創出できる人財を獲得し、育成していきます。

経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。成長により生み出された収益や成果は、社内外の環境や状況を踏まえ適切な時期と方法で賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、様々な教育訓練等の人財投資に関する施策に継続して取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には賃金の引上げについて賃金の引上げに関する労使の真摯な議論を通じ、最も大切な人財資産をより豊かにすべく取り組むとともに、教育訓練等について、若手や女性を対象としたキャリア研修など階層別やライフステージに応じたキャリア支援プログラムの提供を通じて従業員のキャリア自律(オーナーシップ)意識を醸成し、積極的に自分磨きができる環境を提供します。さらに、グループ経営人財やリーダー層の育成プログラムを拡充します。

また、従業員の Well-being は人財資産の強化を支える基盤であると考え、健康増進や資産形成等、広い観点で従業員の Well-being 向上にも取り組みます。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【 <https://www.biz-partnership.jp/declaration/123004-05-01-tokyo.pdf> 】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和8年1月1日

味の素株式会社

代表執行役社長 中村 茂雄

法人名

役職・氏名(代表権を有する者)